Kashimura

BL-72

1日連続通話できる
Bluetooth イヤホンマイク

保管用
保証書付

取扱説明書

ペアリング表示名
BL-72

もくじ

安全上のご注意 ―― 1
警告 ―― 2
注意 ―― 3
各部の名称と働き ―― 4
使用上のご注意 ―― 5
使用方法(初めて使用する場合) ―― 6
主なBluetooth搭載のペアリング方法 ―― 7～10
使用方法 ―― 11～13
故障かな?と思ったら ―― 14
保証書 ―― 15

安全上のご注意

必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
🚫	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

🚫	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るために音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中での携帯･自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
🚫	＊走行中のご使用にあたっては各都道府県や各地域の条令に従ってください。
🚫	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

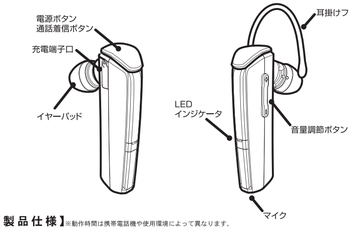
⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭･発煙･変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。
❗	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。(火災事故の原因となります。)
❗	＊付属品のDC充電器とUSBケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC充電器は12V/24V、USBケーブルはUSB端子5V以外では使用しないでください。 （事故・故障の原因となります。） ＊付属のDC充電器とUSBケーブルで携帯電話機を充電しないでください。
❗	＊本製品を充電しながら耳に付けて使用しないでください。使用する際は必ずUSBケーブルから本製品を外してください。 （事故やけがの原因となります。）
❗	＊充電終了後は必ずUSBケーブルから本製品を外し、USBケーブルをUSB端子から抜いてください。 （火災・事故の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードや端子が傷んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。 （事故やけがをするおそれがあります。）
🚫	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊絶対に分解･修理･改造をしないでください。 （発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠注意

❗	＊窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持ってまっすぐ抜いてください。 （感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。 （感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。 （事故・故障の原因となります。）
🚫	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
🚫	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。(事故・故障の原因となります。)
🚫	＊イヤホンパッドをしっかり取り付けてください。イヤホンパッドなしで装着したり、イヤホンパッドがはずれて耳に残ると病気の原因となることがあります。
❗	＊装着中に気分が悪くなるなど異常を感じたときは直ちに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
🚫	＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
🚫	＊子供の手の届く所には保管しないでください。 （事故・ケガの原因となります。）
🚫	＊湿気の多い所には保管しないでください。 （絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き

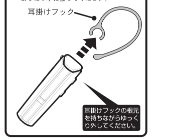


【製品仕様】※動作時間は携帯電話機や使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.4.2 CSR 8615 IC（Class2準拠）
送信周波数範囲	2.4GHz～2.4835GHz
対応プロファイル	HSP / HFP / A2DP/AVRCP
マルチポイント	2台
SCMS-T	対応
無線距離	約10m
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間
連続使用時間	約24時間
外観寸法	20W×62H×34Dmm
動作・保証環境	温度０～35℃(結露しないこと)
付属品	DC充電器 / USBケーブル / 耳掛けフック イヤホンパッド(S,M,L)

右耳で使用する場合

※左耳用になっている耳掛けフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
※取り替える際は耳掛けフックが折れないように丁寧に扱ってください。



＊ご案内する適合機種は携帯電話機での通話についての確認結果です。連続通話時間、連続待受時間マルチポイント、音楽、ワンセグ音声などの動作を保証するものではありません。
＊携帯電話機の仕様変更(ソフトウェアの更新)、マルチポイント利用しながらの待ち受け、通信環境等により、連続通話時間、連続待受時間が著しく短くなる場合がございます。予めご了承ください。

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。 建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊4時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません。)
＊リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はおすすめできません。

使用する電波について

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変 調 方 式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】
7～10ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷ペアリング（初期設定）可能な状態にするために電源ボタンを約８秒間押し続けインジケータを青色点滅後の**赤・青交互の点滅**の状態にしてください。
(イヤホンからは電子音が流れます。)
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「**BL-72**」と表示されますので表示された番号を選択してください。
＊パスキー入力が不要な携帯電話機は、接続完了となります。
❺選択した後は携帯電話機の指示に従い操作をしてください。
認証のために携帯電話機によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ４つ「0000」を入力してください。接続する種類を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。「ヘッドセット」を選択した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊パスキーという表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書を参照してください。
❻本製品のインジケータが**青色点滅**になったらペアリング設定は終了です。
(イヤホンからは電子音が流れます。)
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。

パスキー
0000
(ゼロ4つ)

【2台目のペアリング方法について】

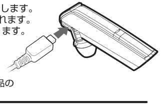
❶1台目の携帯電話との接続が終了したら携帯電話と本製品の電源をOFFにします。
❷2台目の携帯電話と本線品をペアリング（初期設定）し接続します。
❸2台目の携帯電話と本製品はそのままで1台目の携帯電話の電源をONにします。
❹1台目の携帯電話のBluetooth項目から本製品との接続作業をし、接続中に本製品の電源ボタンを1回押すと接続され2台の携帯電話と接続することができます。

【充電について】(充電中は絶対に耳に付けて使用しないでください。)

※付属品のDC充電器とUSBケーブルを使って充電します。
※本体のインジケータが赤色に光ると充電が開始されます。
※本体のインジケータが 青 になると充電終了となります。
（充電時間の目安は電池切れの状態で約2時間）

【電池切れについて】

電池が無くなるとインジケータが赤色点滅し、イヤホンからは電子音が流れます。電池切になった場合は付属品のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。



主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

＊ペアリングする時は、本製品のインジケータを**赤・青交互**の点滅した状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	アップル iPhone 7 Plus	アップル iPhone 7	アップル iPhone SE
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了
機種	ソニー SO-01J	ソニー SO-02H	パナソニック P-02E
ペアリング設定方法	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFを右にスライドしてBluetooth機能をONにする ↓ デバイスの検索をタップ ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご確認頂けます。
http://www.kashimura.com/goods/keitai/bluetooth/bl.html

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

＊ペアリングする時は、本製品のインジケータを**赤・青交互**の点滅した状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	サムスン SC-02H	サムスン SC-01H	LG 電子 DM-02H
ペアリング設定方法	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 接続の項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 接続の項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)をタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了
機種	富士通 F-03H	富士通 F-02H	
ペアリング設定方法	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 本体設定項目にあるBluetoothをタップ ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)を右にスライドしてBluetooth機能をONにする ↓ Bluetooth機器の検索をタップ ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ Wi-Fi･Bluetooth項目にあるBluetoothをタップ ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)をタップしてBluetooth機能をONにする ↓ Bluetooth機器の検索をタップ ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

＊ペアリングする時は、本製品のインジケータを**赤・青交互**の点滅した状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone 7 Plus	アップル iPhone 7	アップル iPhone SE
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了
機種	ソニー SOV34	HTC HTV32	LG 電子 LGV32
ペアリング設定方法	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ ワイヤレスとネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)をタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ Bluetoothのスイッチボタン(○印)をタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

＊ペアリングする時は、本製品のインジケータを**赤・青交互**の点滅した状態でおこなってください。
＊OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

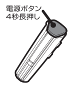
SoftBank

機種	アップル iPhone 7 Plus	アップル iPhone 7	アップル iPhone SE
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ 「Bluetooth」の右スイッチをONにする ↓ 本製品をペアリング可能な状態にする ↓ 「BL-72」と表示された番号をタップ ↓ 接続完了
機種	ソニー 601SO	シャープ 503SH	Google Nexus6P
ペアリング設定方法	ホーム画面でアプリをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの項目にあるBluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面 ↓ 基本機能 ↓ 設定 ↓ Wi-Fi･Bluetoothをタップ ↓ Bluetoothをタップ ↓ BluetoothのOFFをタップしてBluetooth機能をONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了	ホーム画面 ↓ アプリボタンをタップ ↓ 設定 ↓ 無線とネットワークの中のBluetoothをタップ ↓ OFFをタップしてONにする ↓ 「BL-72」と表示された番号を登録 ↓ 接続完了

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【電源をONにする】

電源ボタンを電子音が鳴るまで約4秒ほど長く押してください。
インジケータが青色点滅します。
ペアリングされた情報は各機器ともに残りますので、本製品の電源をONにすれば数秒後に電子音が流れて、携帯電話機が認識し、そのまま使える状態になります。
＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
＊本製品と携帯電話機の接続状況については携帯電話機を確認してください。

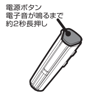


【電源をOFFにする】

電源ボタンを電子音が鳴るまで約4秒ほど長く押してください。
インジケータが赤色点滅し、消灯します。
＊電源がOFFの状態の時はインジケータは消灯したままです。

【電話をかける】

本製品から発信できませんので、携帯電話機から発信してください。
相手が電話に出たら電源ボタンを電子音が鳴るまで約2秒ほど長く押してください。
＊携帯電話機の機種により携帯電話機から発信後に自動でイヤホンに切り替わる機種があります。
＊機能ボタンで操作しても切替わらない機種の場合は携帯電話機で切替えてください。
＊通話中はインジケータは消灯します。

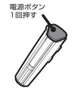


【電話をうける】

イヤホンから着信音が流れます。電源ボタンを1回押すと、通話モードになります。

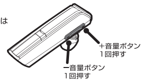
【電話をきる】

本製品の電源ボタンを1回押して下さい。
イヤホンから電子音が流れます。



【音量を調節する】

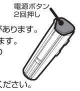
音量を大きくする場合は＋音量ボタンを、音量を小さくする場合は－音量ボタンをそれぞれ1回ずつ押して調整してください。
＊音量がそれぞれ最大･最小になった時にはイヤホンから電子音が流れます。



使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

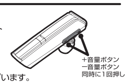
【リダイヤルする】

電源ボタンを2回押してください。イヤホンからは電子音が流れます。
＊ボタン操作が速過ぎたり、遅過ぎたりすると、リダイヤル機能が働かない場合があります。
＊マルチポイント機能使用時はリダイヤル機能はどちらか1台のみの対応となります。
どちらの携帯電話機になるかは二つの機器の組み合わせや接続やペアリングのタイミングによって異なりますので、ご利用開始前にご自分でご確認ください。
＊携帯電話機により連続してリダイヤルができない場合があります。
リダイヤル機能が働かなかった場合は時間をおいてから再度リダイヤルしてください。



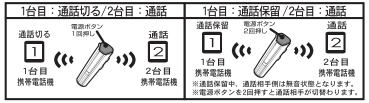
【ミュート機能】

通話中に音量＋ボタンと音量－ボタンを同時に1回押すとミュート機能がONになり、通話相手に自分の声が伝わらなくなります。
ミュート機能をOFFにする場合は音量＋ボタンを音量－ボタンを同時に1回押してください。
＊ミュート機能動作中はイヤホンより電子音が鳴ります。
＊携帯電話機の機種によっては、ミュート機能が働かない場合がございます。



【マルチポイント※携帯電話の2台使用】

通話中にもう1台の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンマイクから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。下図のように電源ボタンを操作することにより、1台目の通話を切る、通話を保留にしたりすることができます。



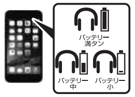
※通話保留中、通話相手側は無音状態となります。
※電源ボタンを2回押すと通話相手が切替わります。

【充電しながら待ち受けをする場合について】
(充電中は絶対に耳に付けて使用しないでください。)

充電しながら、本製品の電源ONの状態で待ち受けすることができます。
※携帯電話機の機種によっては、途中で接続が切れ待ち受け状態が解除されてしまう場合があります。

【iPhoneで本製品のバッテリー残量を表示する】

本製品とiPhoneをペアリングするとiPhoneの液晶画面に本製品のバッテリー残量を表示します。
あくまでも目安ですので、電池残量が少なくなってきたら早めに充電してください。
＊各モデルやOSのバージョンによって、表示されなかったり表示マークが異なったりする場合がございます。


バッテリー
満タン
バッテリー
中
バッテリー
小

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

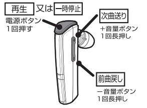
【ワンセグ/音楽を聴く】

A2DPプロファイル対応の携帯電話機であれば、本製品で音楽/ワンセグ音声を聴くことができます。携帯電話のBluetooth設定をオーディオ設定にしてください。
＊ワンセグ、音楽再生中はインジケータが消灯します。

【音楽リモコン】

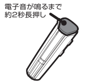
本製品で音楽の再生･一時停止･前曲戻し･次曲送りの操作ができます。
＊一部の音楽アプリ、携帯電話機では操作できない場合がございます。

再生	一時停止	次曲送り	前曲戻し
電源ボタン 1回押す	電源ボタン 1回押す	＋音量ボタン 1回長押し	－音量ボタン 1回長押し



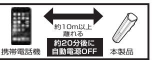
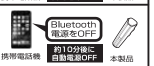
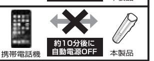
【Siri(シリ)を使用する】

iPhoneのSiriを使用することができます。
本製品の電源ボタンを約2秒長押し、手を離すと電子音が鳴り、Siriのメッセージが iPhoneの液晶画面に表示されます。
Siriを終了する場合も電源ボタンを2秒長押ししてください。
＊2秒以上長押しすると、本製品の電源がOFFになる場合がございます。



【自動電源OFF機能/節電モード】

以下の条件を満たすと本製品の自動電源OFF機能が働き、本製品の電源が自動でOFFになります。
＊一部の携帯電話機では、待ち受け中に自動電源OFF機能が働く場合がございます。

本製品と携帯電話機の通信距離が約10m以上離れる。 又は、通信が途切れた場合	 約10m以上 離れる 約20分後に 自動電源OFF 携帯電話機 本製品
本製品と携帯電話機のBluetooth電源をOFFにした場合	 Bluetooth 電源をOFF 約10分後に 自動電源OFF 携帯電話機 本製品
携帯電話機と本製品をペアリング設定(接続)していない場合	

故障かな?と思ったら

症　状	考えられる原因	処　置
電源がONにならない。	バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源ボタンを長押しして青･赤交互点滅の状態にしてください。
	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングを行う状態になっていない場合がありますので一度設定を中止し、携帯電話機を再起動後、本製品の電源をOFFにしてから改めてペアリグをしてください。
音量が小さい。	音量レベルが小さくなっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切り替えをしてください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機の発信をしてからイヤホンの切り替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	接続時に着信が出ない設定になる携帯電話機があります。	接続時に着信が出ない設定になる携帯電話機があります。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズ音や音切れがする。	無線LAN、街中の電波干渉、携帯電話機を入れるポケットとは反対側の耳にヘッドセットを装着している時に発生する場合があります。	無線LANやWi-Fiの接続のパソコンから離れていただくか、お体から携帯電話機を離してください。
携帯電話機との接続が不安定になっている。	携帯電話機のWiFiの設定をONにしている時に発生する場合があります。	携帯電話機のWi-Fiの設定をOFFにしてください。
待ち受け中に電子音が鳴る。	バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買い上げの販売店、または当社までご相談ください。